

「わくわく子どもも大人も育ち合う」

提出日 平成 30 年 12 月 28 日

支部長名 山口晴津子

○ 実施日 平成 30 年 9 月 13 日（木）
時 間 12 時 30 分～ 16 時 45 分

○ 共 催 大津市教育センター

○ 会 場 大津市立志賀幼稚園

○ 参加者 支部会員・大津市立幼稚園 2・3 年次教員研修参加者（計 83 名）

○ 講 師 所属・職名 全幼研前理事長

名前 岡上直子先生

○ 内 容 公開保育のあとの研究協議では、4 歳児、5 歳児に分かれ、4 歳児には岡上直子先生、5 歳児には中井清津子先生から、具体的にどんな環境づくりや援助が適切か、ご指導いただいた。講演会では岡上直子先生から記録の活かし方、評価の仕方、幼児教育の真価の発信の方法など教えていただいた。参加者のアンケートからは、「明日の保育に活かせる内容で参考になった」「幼児期の教育に関われる仕事ができる喜びを感じた」など、仕事へのモチベーションをあげることができたようだ。講話でも本時の場面を切り口にお話しいただき、参加者同士が学び育ち合える研修会になった。前理事長岡上先生と、膝を突き合わせて保育について語り合えた時間が参加者の喜びとなり、全幼研に入っている喜びとして心に残る研修会となった。



○ 実施日 平成 30 年 12 月 25 日 (火)
時 間 10 時～ 12 時

○ 共 催 _____ なし _____

○ 会 場 _____ 守山市立守山幼稚園 _____

○ 参加者 支部会員 (計 45 名) _____

○ 講 師 所属・職名 _____ 滋賀短期大学附属幼稚園 園長 _____

名前 _____ 小野 清司先生 _____

○ 内 容 実技及び講話

「幼児期における運動遊びの意義と小学校との連携」
～目のつけどころと押さえどころ～

実技の具体的な方法を教わるだけでなく、子どもの現状からなぜ幼児期こそ身体作りが必要か、運動の成り立ちから丁寧に導入することで運動のコツを楽しみながら身につけることなど実技を通じて教えていただいた。また、運動遊びを窓口に小学校教育との連携の図り方など、教育要領の内容にそって解説いただき、校長先生としてのご経験から、幼児教育の意義の発信方法についても、ご示唆いただいた。参加者のアンケートからは、「運動遊びを理論的な裏付けから理解できた」「発達に応じた指導を日常的に意識することの大切さが理解できた」など、参加者の視野をひろげる機会となった研修会であった。実技と理論で時間のたつのも忘れるような和やかで充実した研修



成果と課題

日常、目先の多忙感で、保育者としての喜びをあらためて感じる事が少なくなりがち
な現実の中で、この 2 回の研修会は、自分を取り戻し、あらたな元気を
得る機会となった。この事業はそういう支部の願いを後押しして
いただけるものであった。今後、会員の減少も支部の課題となっ
ているので、本部と連携しながら、入ってよかった全幼研と思え
るような研修会を支部でも積極的に開催し、子どもだけでなく、
子どもを支える保育者が育ち合うことを願って支部運営をしてい
きたいと願っている